

＜ごみ処理基本計画 資料編＞

ごみ処理基本計画 資料編 目次

第1章 ごみ排出量の推計	1
第1節 推計方法	1
第2節 現状推移によるごみ排出量	2
第3節 減量化推進後のごみ排出量推計	10
第2章 ごみ処理量の推計	17
第1節 破碎選別処理	17
第2節 焼却処理	21
第3節 堆肥化処理	エラー! ブックマークが定義されていません。
第4節 資源化処理	23
第5節 最終処分	24
第3章 減量化推進後のごみ処理システム評価	25
第1節 ごみ総排出量原単位	25
第2節 リサイクル率	26
第3節 最終処分率	27

第1章 ごみ排出量の推計

第1節 推計方法

1. ごみ処理推計の考え方

まず、将来のごみ排出量について、過去のごみ排出量状況で推移した場合の「現状推移によるごみ排出量」を推計します。

次に、現状推移によるごみ排出量推計に対して、ごみの発生・排出抑制によるごみの減量を考慮した場合の「減量化推進後のごみ排出量」を推計します。

2. 回帰予測式

「現状推移によるごみ排出量」は、過去の実績を基に、現状のごみ処理システムにおける予測を行います。

予測計算は、『ごみ処理施設構造指針解説』（昭和62年、厚生省監修、（社）全国都市清掃会議発行）の「将来人口及びごみ量の推定方法」を参考として、過去の実績から回帰式（関数式）を求め、将来値の予測を行う「数学的方法（回帰予測）」によって行うこととします。ごみ排出量のデータの当てはまりを考慮して、次に挙げる6種類の回帰式を求め、最も適した回帰式を採用することを原則とします。

回帰式の当てはまり具合を示す尺度として、相関係数（最大値＝1）があり、相関係数が大きい（に近い）ほど当てはまりがよいといえます。

回帰式の相関係数が低い場合は、過去の実績の平均値や直近年度値など、過去の実績を考慮して設定します。

【回帰式】

- ①直線式 [$y = a x + b$]
- ②分数式 [$y = a / x + b$]
- ③ルート式 [$y = a \sqrt{x} + b$]
- ④対数式 [$y = a \log x + b$]
- ⑤べき乗式 [$y = a x^b$]
- ⑥指数式 [$y = a b^x$]

※各回帰式の x に年度（初期年度を1とします。）、 y にごみ排出量をあてはめます

第2節 現状推移によるごみ排出量

各町の家庭系ごみ、事業系ごみ、集団回収量の予測計算を以降に示します。

なお、ごみ総排出量、家庭系ごみ排出量及び集団回収量については、排出量原単位を用いて予測計算します。

1. 標津町

(1) ごみ総排出量

表 1-1 採用理由(標津町_ごみ総排出量)

採用式	なし(直近年度(令和元年度)値で一定推移)
採用理由	過去5年間で増減の幅が大きいため、直近年度(令和元年度)値で一定推移とします。

番号 (X)	年度	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式
7	R2 年度	895	917	902	908	908	895
8	R3 年度	887	916	897	906	905	888
9	R4 年度	880	916	893	904	904	881
10	R5 年度	872	916	889	902	902	874
11	R6 年度	865	916	886	900	900	867
12	R7 年度	857	915	882	899	899	860
13	R8 年度	850	915	879	897	897	854
14	R9 年度	842	915	875	896	896	847
15	R10 年度	835	915	872	895	895	840
16	R11 年度	827	915	869	894	894	833
17	R12 年度	820	915	866	893	893	827
18	R13 年度	812	915	863	892	892	820
19	R14 年度	805	915	861	891	891	814
20	R15 年度	797	915	858	890	890	807
21	R16 年度	790	914	855	889	890	801
22	R17 年度	782	914	853	888	889	795
相関係数 (r)		0.3610	0.2500	0.3545	0.3317	0.3306	0.3614
順位		2	6	3	4	5	1

直線式 : $y = -7.500000x + 947.300000$

分数式 : $y = 25.319430(1/x) + 913.237460$

ルート式 : $y = -23.929372 \times x^{(1/2)} + 964.916791$

対数式 : $y = -17.147512 \ln(x) + 941.218714$

べき乗式 : $y = 940.753333 \times (x^{-0.018382})$

指数式 : $y = 946.689316 \times (0.992068^x)$

単位 : g/人・日

表 1-2 標津町ごみ総排出量の回帰予測

直線式 $y = -7.500000x + 947.300000$ 分数式 $y = 25.319430(1/x) + 913.237460$ ルート式 $y = -23.929372 \times x^{(1/2)} + 964.916791$ 対数式 $y = -17.147512 \text{LN}(x) + 941.218714$ べき乗式 $y = 940.753333 \times (x^{-0.018382})$ 指数式 $y = 946.689316 \times (0.992068^x)$							
単位：g/人・日							
番号(x)	年度	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式
6	R1年度	902	917	906	910	910	903
7	R2年度	895	917	902	908	908	895
8	R3年度	887	916	897	906	905	888
9	R4年度	880	916	893	904	904	881
10	R5年度	872	916	889	902	902	874
11	R6年度	865	916	886	900	900	867
12	R7年度	857	915	882	899	899	860
13	R8年度	850	915	879	897	897	854
14	R9年度	842	915	875	896	896	847
15	R10年度	835	915	872	895	895	840
16	R11年度	827	915	869	894	894	833
17	R12年度	820	915	866	893	893	827
18	R13年度	812	915	863	892	892	820
19	R14年度	805	915	861	891	891	814
20	R15年度	797	915	858	890	890	807
21	R16年度	790	914	855	889	890	801
相関係数(r)		0.3610	0.2500	0.3545	0.3317	0.3306	0.3614
順位		2	6	3	4	5	1

(2) 家庭系ごみ排出量

表 1-3 採用理由(標津町_家庭系ごみ排出量)

採用式	なし(直近年度(令和元年度)値で一定推移)
採用理由	過去5年間で増減の幅が大きいため、直近年度(令和元年度)値で一定推移とします。

表 1-4 標津町家庭系ごみ排出量の回帰予測

番号 (X)	年度	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式
7	R2 年度	834	845	838	841	841	834
8	R3 年度	831	845	836	840	840	831
9	R4 年度	827	845	834	839	839	828
10	R5 年度	824	845	832	838	838	825
11	R6 年度	821	845	831	838	838	822
12	R7 年度	818	845	829	837	837	819
13	R8 年度	814	845	828	837	837	816
14	R9 年度	811	845	827	836	836	812
15	R10 年度	808	845	825	836	836	809
16	R11 年度	804	845	824	835	835	806
17	R12 年度	801	845	823	835	835	803
18	R13 年度	798	845	822	835	835	800
19	R14 年度	794	845	820	834	834	797
20	R15 年度	791	845	819	834	834	794
21	R16 年度	788	845	818	834	834	791
22	R17 年度	785	845	817	833	833	788
相関係数 (r)		0	0	0	0	0	0
順位		2	6	3	4	5	1

直線式 : $y = -3.300000x + 857.100000$

分数式 : $y = 6.042767(1/x) + 844.440470$

ルート式 : $y = -9.985299 \times x^{(1/2)} + 863.940018$

対数式 : $y = -6.511194 \ln(x) + 853.434457$

べき乗式 : $y = 853.040642 \times (x^{-0.007533})$

指数式 : $y = 856.563804 \times (0.996229^x)$

単位 : g/人・日

直線式 $y = -3.300000x + 857.100000$ 分数式 $y = 6.042767(1/x) + 844.440470$ ルート式 $y = -9.985299 \times x^{(1/2)} + 863.940018$ 対数式 $y = -6.511194 \ln(x) + 853.434457$ べき乗式 $y = 853.040642 \times (x^{-0.007533})$ 指数式 $y = 856.563804 \times (0.996229^x)$							
単位：g/人・日							
番号(x)	年度	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式
6	R1年度	837	845	839	842	842	837
7	R2年度	834	845	838	841	841	834
8	R3年度	831	845	836	840	840	831
9	R4年度	827	845	834	839	839	828
10	R5年度	824	845	832	838	838	825
11	R6年度	821	845	831	838	838	822
12	R7年度	818	845	829	837	837	819
13	R8年度	814	845	828	837	837	816
14	R9年度	811	845	827	836	836	812
15	R10年度	808	845	825	836	836	809
16	R11年度	804	845	824	835	835	806
17	R12年度	801	845	823	835	835	803
18	R13年度	798	845	822	835	835	800
19	R14年度	794	845	820	834	834	797
20	R15年度	791	845	819	834	834	794
21	R16年度	788	845	818	834	834	791
相関係数(r)		0.2089	0.0785	0.1946	0.1657	0.1652	0.2090
順位		2	6	3	4	5	1

また、家庭系ごみのごみ区分別排出量は、過去5年間(平成26年度～平成30年度)の家庭系ごみ排出量に対するごみ区分別家庭系ごみ排出量の割合の平均で按分します。

表 1-5 ごみ区分別割合(家庭系ごみ)

ごみ区分	燃やせるごみ	燃やせないごみ	粗大ごみ	資源ごみ
割合	64.1%	6.3%	6.3%	23.3%

表 1-6 現状推移によるごみ排出量(家庭系ごみ)

区分	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
家庭系ごみ排出量原単位	g/人・日	847	847	847	847	847	847
家庭系ごみ	t/年	1,500	1,476	1,451	1,431	1,402	1,378
燃やせるごみ	t/年	962	945	930	916	898	884
燃やせないごみ	t/年	94	93	91	90	88	86
粗大ごみ	t/年	94	93	91	90	88	86
資源ごみ	t/年	350	345	339	335	328	322
区分	単位	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
家庭系ごみ排出量原単位	g/人・日	847	847	847	847	847	847
家庭系ごみ	t/年	1,352	1,329	1,299	1,273	1,247	1,225
燃やせるごみ	t/年	866	852	833	815	800	784
燃やせないごみ	t/年	85	83	82	80	78	77
粗大ごみ	t/年	85	83	82	80	78	77
資源ごみ	t/年	316	311	302	298	291	287
区分	単位	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度		
家庭系ごみ排出量原単位	g/人・日	847	847	847	847		
家庭系ごみ	t/年	1,196	1,171	1,145	1,123		
燃やせるごみ	t/年	768	751	735	720		
燃やせないごみ	t/年	75	73	72	70		
粗大ごみ	t/年	75	73	72	70		
資源ごみ	t/年	278	274	266	263		

資源ごみについては、さらに、区分別に家庭系ごみ排出量に対するごみ区分別家庭系ごみ排出量の割合の平均で按分します。

表 1-7 ごみ区分別割合(家庭系ごみ)

ごみ区分	びん類	カン類	ペットボトル (白色トレイ含む)	プラスチック製 容器包装	紙製容器包装
割合	3.4%	1.7%	1.3%	1.9%	0.9%
ごみ区分	新聞紙	雑誌類	ダンボール	紙パック	その他
割合	3.9%	5.0%	3.2%	0.1%	2.9%

表 1-8 現状推移によるごみ排出量(家庭系資源ごみ)

(単位：t/年)

（単位：t）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
家庭系資源ごみ	350	345	339	335	328	322
びん類	49	48	47	47	45	45
カン類	25	25	24	24	23	23
ペットボトル(白色トレイ含む)	19	18	18	18	17	17
プラスチック製容器包装	28	27	27	27	26	26
紙製容器包装	13	13	13	12	12	12
新聞紙	56	56	55	54	52	52
雑誌類	72	71	70	69	66	66
ダンボール	46	45	44	44	42	42
紙パック	1	1	1	1	1	1
その他	41	41	40	39	38	38

区分	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
家庭系資源ごみ	316	311	302	298	291	287
びん類	44	43	42	42	41	40
カン類	23	22	22	21	21	21
ペットボトル(白色トレイ含む)	17	17	16	16	15	15
プラスチック製容器包装	25	25	24	24	23	23
紙製容器包装	12	12	11	11	11	11
新聞紙	51	50	49	48	47	46
雑誌類	65	64	62	61	60	59
ダンボール	41	40	39	39	38	37
紙パック	1	1	1	1	1	1
その他	37	37	36	35	34	34

区分	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
家庭系資源ごみ	278	274	266	262
びん類	39	38	37	36
カン類	20	20	19	19
ペットボトル(白色トレイ含む)	15	15	14	14
プラスチック製容器包装	22	22	21	21
紙製容器包装	10	10	10	10
新聞紙	45	44	43	42
雑誌類	57	56	55	54
ダンボール	36	36	35	35
紙パック	1	1	1	1
その他	33	32	31	30

(3) 事業系ごみ排出量

事業系ごみのごみ区分別排出量は、過去5年間(平成26年度～平成30年度)の事業系ごみ排出量に対するごみ区分別事業系ごみ排出量の割合の平均で按分します。

表 1-9 ごみ区分別割合(事業系ごみ)

ごみ区分	燃やせるごみ	燃やせないごみ	粗大ごみ	資源ごみ
割合	73.2%	5.2%	5.2%	16.3%

表 1-10 現状推移によるごみ排出量(事業系ごみ)

(単位：t/年)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業系ごみ	153	150	148	145	142	139
燃やせるごみ	112	110	110	108	105	103
燃やせないごみ	8	8	7	7	7	7
粗大ごみ	8	8	7	7	7	7
資源ごみ	25	24	24	23	23	22
区分	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
事業系ごみ	137	135	132	130	127	125
燃やせるごみ	101	99	97	95	95	93
燃やせないごみ	7	7	7	7	6	6
粗大ごみ	7	7	7	7	6	6
資源ごみ	22	22	21	21	20	20
区分	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度		
事業系ごみ	122	119	117	114		
燃やせるごみ	90	88	86	84		
燃やせないごみ	6	6	6	6		
粗大ごみ	6	6	6	6		
資源ごみ	20	19	19	18		

資源ごみについては、さらに、区分別に事業系ごみ排出量に対するごみ区分別事業系ごみ排出量の割合の平均で按分します。

表 1-11 ごみ区分別割合(事業系ごみ)

ごみ区分	びん類	カン類	ペットボトル (白色トレイ含む)	プラスチック製 容器包装	紙製容器包装
割合	0.3%	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%
ごみ区分	新聞紙	雑誌類	ダンボール	紙パック	その他
割合	0.4%	0.5%	0.3%	0.0%	0.3%

表 1-12 現状推移によるごみ排出量(事業系資源ごみ)

(単位：t/年)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業系資源ごみ	25	24	24	23	23	22
びん類	3.5	3.3	3.3	3.2	3.2	3.1
カン類	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6
ペットボトル(白色トレイ含む)	1.4	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2
プラスチック製容器包装	2.0	1.9	1.9	1.9	1.9	1.8
紙製容器包装	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8
新聞紙	4.0	3.9	3.9	3.7	3.7	3.6
雑誌類	5.1	5.0	5.0	4.8	4.7	4.5
ダンボール	3.3	3.1	3.1	3.0	3.0	2.9
紙パック	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
その他	2.9	2.9	2.8	2.7	2.7	2.6
区分	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
事業系資源ごみ	22	22	21	21	20	20
びん類	3.1	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8
カン類	1.6	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4
ペットボトル(白色トレイ含む)	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0
プラスチック製容器包装	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6
紙製容器包装	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
新聞紙	3.6	3.6	3.4	3.4	3.2	3.2
雑誌類	4.5	4.5	4.3	4.3	4.1	4.1
ダンボール	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.7
紙パック	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
その他	2.6	2.6	2.5	2.5	2.3	2.3
区分	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度		
事業系資源ごみ	20	19	19	18		
びん類	2.8	2.7	2.6	2.5		
カン類	1.4	1.3	1.3	1.3		
ペットボトル(白色トレイ含む)	1.0	1.0	1.0	0.9		
プラスチック製容器包装	1.6	1.5	1.5	1.4		
紙製容器包装	0.8	0.7	0.7	0.7		
新聞紙	3.2	3.1	3.1	3.0		
雑誌類	4.1	4.0	3.9	3.8		
ダンボール	2.7	2.6	2.6	2.3		
紙パック	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1		
その他	2.3	2.2	2.2	2.1		

第3節 減量化推進後のごみ排出量推計

各町のごみ総排出量及び家庭系ごみ排出量について、各原単位の減量目標を設定し、減量化推進後のごみ排出量を推計します。

また、集団回収量については、現状推移によるごみ排出量推計と同じとします。

1. 標津町

(1) ごみ総排出量

北海道廃棄物処理計画(第4次)における「1人1日当たりのごみ排出量」の目標(7年間で6.37%減量(平成24年度1,004g/人・日を平成31年度940g/人・日以下とする))をベースに、平成30年度実績(921g/人・日)を基準として、令和7年度までに、その50%を減量することを目標とします。

また、令和7年度から目標年次(令和16年度)までは、一定推移とします。

表 1-13 ごみ総排出量の減量設定(標津町)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
基準年度のごみ総排出量 原単位に対する減量率	%	0.910%	1.365%	1.820%	2.275%	2.730%	
基準年度のごみ総排出量 原単位に対する減量	g/人・日	8	13	17	21	25	29
ごみ総排出量原単位	g/人・日		913	908	904	900	896
ごみ総排出量	t/年		1,617	1,582	1,549	1,520	1,483
区分	単位	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度	令和 13年度
基準年度のごみ総排出量 原単位に対する減量率	%	3.185%	3.185%	3.185%	3.185%	3.185%	3.185%
基準年度のごみ総排出量 原単位に対する減量	g/人・日	29	29	29	29	29	29
ごみ総排出量原単位	g/人・日	892	892	892	892	892	892
ごみ総排出量	t/年	1,451	1,423	1,400	1,368	1,341	1,291
区分	単位	令和 14年度	令和 15年度	令和 16年度	令和 17年度		
基準年度のごみ総排出量 原単位に対する減量率	%	3.185%	3.185%	3.185%	3.185%		
基準年度のごみ総排出量 原単位に対する減量	g/人・日	29	29	29	29		
ごみ総排出量原単位	g/人・日	892	892	892	892		
ごみ総排出量	t/年	1,260	1,233	1,206	1,179		

(2) 家庭系ごみ排出量

北海道廃棄物処理計画(第4次)における「1人1日当たりのごみ排出量」の目標(7年間で5.14%減量(平成24年度622g/人・日を平成31年度590g/人・日以下とする))をベースに、平成30年度実績(847g/人・日)を基準として、令和7年度までに、その50%を減量することを目標とします。

また、令和7年度から目標年次(令和16年度)までは、一定推移とします。

表 1-14 家庭系ごみ排出量の減量設定

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
基準年度の家庭系ごみ排出量 原単位に対する減量率	%	0.734%	1.101%	1.469%	1.836%	2.203%	2.570%
基準年度の家庭系ごみ排出量 原単位に対する減量	g/人・日	6	9	12	16	19	22
家庭系ごみ排出量原単位	g/人・日	841	838	835	831	828	825
家庭系ごみ排出量	t/年	1,490	1,460	1,431	1,404	1,371	1,342
区分	単位	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度	令和 13年度
基準年度の家庭系ごみ排出量 原単位に対する減量率	%	2.570%	2.570%	2.570%	2.570%	2.570%	2.570%
基準年度の家庭系ごみ排出量 原単位に対する減量	g/人・日	22	22	22	22	22	22
家庭系ごみ排出量原単位	g/人・日	825	825	825	825	825	825
家庭系ごみ排出量	t/年	1,317	1,295	1,266	1,240	1,215	1,194
区分	単位	令和 14年度	令和 15年度	令和 16年度	令和 17年度		
基準年度の家庭系ごみ排出量 原単位に対する減量率	%	2.570%	2.570%	2.570%	2.570%		
基準年度の家庭系ごみ排出量 原単位に対する減量	g/人・日	22	22	22	22		
家庭系ごみ排出量原単位	g/人・日	825	825	825	825		
家庭系ごみ排出量	t/年	1,165	1,141	1,116	1,092		

家庭系ごみのごみ区分別排出量は、以下の式により算出します。

$$\begin{aligned} & \text{減量化推進後の家庭系ごみ区分別排出量} = \text{現状推移による家庭系ごみ区分別排出量} \\ & - (\text{現状推移による家庭系ごみ排出量} - \text{減量化推進後の家庭系ごみ排出量}) \\ & \times \text{家庭系ごみ区分別減量割合} \end{aligned}$$

家庭系ごみ区分別減量割合は、資源ごみの減量割合を他のごみ区分(燃やせないごみ、粗大ごみ)の50%とし、燃やせるごみの減量割合を増加させるものとして按分します。

表 1-15 ごみ区分別減量割合(家庭系ごみ)

ごみ区分	燃やせるごみ	燃やせないごみ	粗大ごみ	資源ごみ
割合	75.8%	6.3%	6.3%	11.7%

表 1-16 減量化推進後のごみ排出量(家庭系ごみ)

(単位：t/年)

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
家庭系ごみ		1,490	1,460	1,431	1,404	1,371	1,342
	燃やせるごみ	952	931	912	891	869	851
	燃やせないごみ	94	92	90	89	87	85
	粗大ごみ	94	92	90	89	87	85
	資源ごみ	350	345	339	335	328	321
区分		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
家庭系ごみ		1,317	1,295	1,266	1,240	1,215	1,194
	燃やせるごみ	834	821	803	785	771	756
	燃やせないごみ	84	82	81	79	77	76
	粗大ごみ	84	82	81	79	77	76
	資源ごみ	315	310	301	297	290	286
区分		令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度		
家庭系ごみ		1,165	1,141	1,116			
	燃やせるごみ	740	724	709			
	燃やせないごみ	74	72	71			
	粗大ごみ	74	72	71			
	資源ごみ	277	273	265			

資源ごみについては、区分別に、家庭系ごみ区分別減量割合を資源ごみの減量割合を他のごみ区分(燃やせないごみ、粗大ごみ)の50%として按分します。

表 1-17 ごみ区分別減量割合(家庭系資源ごみ)

ごみ区分	びん類	カン類	ペットボトル (白色トレイ含む)	プラスチック製 容器包装	紙製容器包装
割合	1.6%	0.8%	0.6%	0.9%	0.4%
ごみ区分	新聞紙	雑誌類	ダンボール	紙パック	その他
割合	1.9%	2.4%	1.5%	0.0%	1.4%

表 1-18 減量化推進後のごみ排出量(家庭系資源ごみ)

(単位：t/年)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
家庭系資源ごみ	350	345	339	335	328	321
びん類	49	48	47	47	46	45
カン類	25	25	24	24	24	23
ペットボトル(白色トレイ含む)	19	18	18	18	17	17
プラスチック製容器包装	28	27	27	27	26	26
紙製容器包装	13	13	13	12	12	12
新聞紙	56	56	55	54	53	52
雑誌類	72	71	70	69	67	65
ダンボール	46	45	44	44	43	42
紙パック	1	1	1	1	1	1
その他	41	41	40	39	39	38
区分	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
家庭系資源ごみ	315	310	301	297	290	286
びん類	44	43	42	42	41	40
カン類	23	22	22	21	21	21
ペットボトル(白色トレイ含む)	17	17	16	16	15	15
プラスチック製容器包装	25	25	24	24	23	23
紙製容器包装	12	12	11	11	11	11
新聞紙	51	50	49	48	47	46
雑誌類	64	63	61	60	59	58
ダンボール	41	40	39	39	38	37
紙パック	1	1	1	1	1	1
その他	37	37	36	35	34	34
区分	令和15年度	令和16年度	令和16年度	令和17年度		
家庭系資源ごみ	277	273	265			
びん類	39	38	37			
カン類	20	20	19			
ペットボトル(白色トレイ含む)	15	15	14			
プラスチック製容器包装	22	22	21			
紙製容器包装	10	10	10			
新聞紙	45	44	43			
雑誌類	56	55	54			
ダンボール	36	36	35			
紙パック	1	1	1			
その他	33	32	31			

(3) 事業系ごみ排出量

事業系ごみのごみ区分別排出量は、家庭系ごみと同様に、以下の式により算出します。

$$\begin{aligned} & \text{減量化推進後の事業系ごみ区分別排出量} = \text{現状推移による事業系ごみ区分別排出量} \\ & \quad - (\text{現状推移による事業系ごみ排出量} - \text{減量化推進後の事業系ごみ排出量}) \\ & \quad \times \text{事業系ごみ区分別減量割合} \end{aligned}$$

事業系ごみ区分別減量割合は、資源ごみの減量割合を他のごみ区分(燃やせないごみ、粗大ごみ)の50%とし、燃やせるごみの減量割合を増加させるものとして按分します。

表 1-19 ごみ区分別減量割合(事業系ごみ)

ごみ区分	燃やせるごみ	燃やせないごみ	粗大ごみ	資源ごみ
割合	81.9%	5.0%	5.0%	8.1%

表 1-20 減量化推進後のごみ排出量(事業系ごみ)

(単位：t/年)

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業系ごみ		127	122	118	116	112	109
	燃やせるごみ	92	90	87	85	83	81
	燃やせないごみ	7	6	6	6	5	5
	粗大ごみ	7	6	6	6	5	5
	資源ごみ	21	20	19	19	19	18
区分		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
事業系ごみ		106	105	102	101	99	97
	燃やせるごみ	78	77	75	74	74	73
	燃やせないごみ	5	5	5	5	4	4
	粗大ごみ	5	5	5	5	4	4
	資源ごみ	18	18	17	17	17	16
区分		令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度		
事業系ごみ		95	92	90			
	燃やせるごみ	71	69	67			
	燃やせないごみ	4	4	4			
	粗大ごみ	4	4	4			
	資源ごみ	16	15	15			

資源ごみについては、区分別に、事業系ごみ区分別減量割合を資源ごみの減量割合を他のごみ区分(燃やせないごみ、粗大ごみ)の50%として按分します。

表 1-21 ごみ区分別減量割合(事業系資源ごみ)

ごみ区分	びん類	カン類	ペットボトル (白色トレイ含む)	プラスチック製 容器包装	紙製容器包装
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ごみ区分	新聞紙	雑誌類	ダンボール	紙パック	その他
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.1%

表 1-22 減量化推進後のごみ排出量(事業系資源ごみ)

(単位：t/年)

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
家庭系資源ごみ		21	20	19	19	19	18
びん類		-	-	-	-	-	-
カン類		-	-	-	-	-	-
ペットボトル(白色トレイ含む)		-	-	-	-	-	-
プラスチック製容器包装		-	-	-	-	-	-
紙製容器包装		-	-	-	-	-	-
新聞紙		-	-	-	-	-	-
雑誌類		-	-	-	-	-	-
ダンボール		-	-	-	-	-	-
紙パック		-	-	-	-	-	-
その他		21	20	19	19	19	18

区分		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
家庭系資源ごみ		18	18	17	17	17	16
びん類		-	-	-	-	-	-
カン類		-	-	-	-	-	-
ペットボトル(白色トレイ含む)		-	-	-	-	-	-
プラスチック製容器包装		-	-	-	-	-	-
紙製容器包装		-	-	-	-	-	-
新聞紙		-	-	-	-	-	-
雑誌類		-	-	-	-	-	-
ダンボール		-	-	-	-	-	-
紙パック		-	-	-	-	-	-
その他		18	18	17	17	17	16

区分		令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
家庭系資源ごみ		16	15	15	15
びん類		-	-	-	-
カン類		-	-	-	-
ペットボトル(白色トレイ含む)		-	-	-	-
プラスチック製容器包装		-	-	-	-
紙製容器包装		-	-	-	-
新聞紙		-	-	-	-
雑誌類		-	-	-	-
ダンボール		-	-	-	-
紙パック		-	-	-	-
その他		16	15	15	15

(4) まとめ

表 1-23 減量化推進後のごみ排出量推計

(単位：t/年)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
家庭系ごみ	1,490	1,460	1,431	1,404	1,371	1,342
燃やせるごみ	952	931	912	891	869	851
燃やせないごみ	94	92	90	89	87	85
粗大ごみ	94	92	90	89	87	85
資源ごみ	350	345	339	335	328	321
事業系ごみ	127	122	118	116	112	109
燃やせるごみ	92	90	87	85	83	81
燃やせないごみ	7	6	6	6	5	5
粗大ごみ	7	6	6	6	5	5
資源ごみ	21	20	19	19	19	18
ごみ排出量	1,617	1,582	1,549	1,520	1,483	1,451
集団回収量	-	-	-	-	-	-
ごみ総排出量	1,617	1,582	1,549	1,520	1,483	1,451
区分	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
家庭系ごみ	1,317	1,295	1,266	1,240	1,215	1,194
燃やせるごみ	834	821	803	785	771	756
燃やせないごみ	84	82	81	79	77	76
粗大ごみ	84	82	81	79	77	76
資源ごみ	315	310	301	297	290	286
事業系ごみ	106	105	102	101	99	97
燃やせるごみ	78	77	75	74	74	73
燃やせないごみ	5	5	5	5	4	4
粗大ごみ	5	5	5	5	4	4
資源ごみ	18	18	17	17	17	16
ごみ排出量	1,423	1,400	1,368	1,341	1,314	1,291
集団回収量	-	-	-	-	-	-
ごみ総排出量	1,423	1,400	1,368	1,341	1,314	1,291
区分	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度		
家庭系ごみ	1,165	1,141	1,116			
燃やせるごみ	740	724	709			
燃やせないごみ	74	72	71			
粗大ごみ	74	72	71			
資源ごみ	277	273	265			
事業系ごみ	95	92	90			
燃やせるごみ	71	69	67			
燃やせないごみ	4	4	4			
粗大ごみ	4	4	4			
資源ごみ	16	15	15			
ごみ排出量	1,260	1,233	1,206			
集団回収量	-	-	-			
ごみ総排出量	1,260	1,233	1,206			

第2章 ごみ処理量の推計

第1節 破碎選別処理

1. 標津町、羅臼町

(1) 手選別処理

減量化推進後における標津町及び羅臼町の手選別処理量は、各町ごとに以下の式により算出します。

搬入量＝燃やせないごみ＋粗大ごみ

各搬出量＝搬入量×各搬出物の搬入量に対する割合

※各搬出物の搬入量に対する割合は、過去4年間(平成26年度～平成29年度)の実績における各搬出物の搬入量に対する割合の平均を用いています。

表 2-1 各搬出物の搬入量に対する割合(手選別処理)

ごみ区分	破碎選別処理	手選別後埋立	手選別後焼却処理	手選別資源回収
割合	77.1%	10.0%	5.5%	7.6%

表 2-2 減量化推進後における手選別処理量推計

(単位：t/年)

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
搬入量		202	196	192	190	184	180
	燃やせないごみ	101	98	96	95	92	90
	粗大ごみ	101	98	96	95	92	90
搬出量		202	196	192	190	184	180
	破碎選別処理	156	151	148	147	142	139
	手選別後埋立	20	20	19	19	18	18
	手選別後焼却処理	11	11	11	10	10	10
	手選別資源回収	15	14	14	14	14	13
区分		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
搬入量		178	174	172	168	162	160
	燃やせないごみ	89	87	86	84	81	80
	粗大ごみ	89	87	86	84	81	80
搬出量		178	174	172	168	162	160
	破碎選別処理	137	134	133	130	125	123
	手選別後埋立	18	17	17	17	16	16
	手選別後焼却処理	10	10	9	9	9	9
	手選別資源回収	13	13	13	12	12	12
区分		令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度		
搬入量		156	152	150			
	燃やせないごみ	78	76	75			
	粗大ごみ	78	76	75			
搬出量		156	152	150			
	破碎選別処理	119	118	116			
	手選別後埋立	16	15	15			
	手選別後焼却処理	9	8	8			
	手選別資源回収	12	11	11			

表 2-3 減量化推進後における手選別処理量推計(標津町、羅臼町)

(単位：t/年)

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
搬入量		356	342	334	327	320	310
	燃やせないごみ	191	183	179	175	172	166
	粗大ごみ	165	159	155	152	148	144
搬出量		356	342	334	327	320	310
	破碎選別処理	281	269	262	256	252	243
	手選別後埋立	35	34	34	33	32	31
	手選別後焼却処理	12	11	11	11	10	10
	手選別資源回収	28	28	27	27	26	26
区分		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
搬入量		303	297	291	286	279	269
	燃やせないごみ	162	159	156	153	149	144
	粗大ごみ	141	138	135	133	130	125
搬出量		303	297	291	286	279	269
	破碎選別処理	238	233	228	225	219	211
	手選別後埋立	30	30	29	28	28	27
	手選別後焼却処理	10	10	10	9	9	9
	手選別資源回収	25	24	24	24	23	22
区分		令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度		
搬入量		265	258	251	247		
	燃やせないごみ	142	138	134	132		
	粗大ごみ	123	120	117	115		
搬出量		265	258	251	247		
	破碎選別処理	207	201	197	194		
	手選別後埋立	27	26	25	25		
	手選別後焼却処理	9	9	8	8		
	手選別資源回収	22	22	21	20		

(2) 破碎選別処理

減量化推進後における標津町及び羅臼町の破碎選別処理量は、各町ごとに以下の式により算出します。

搬入量＝(手選別処理後)破碎選別処理

各搬出量＝手選別搬入量(燃やせないごみ＋粗大ごみ)

×各搬出物の手選別搬入量に対する割合

※各搬出物の手選別搬入量に対する割合は、過去4年間(平成26年度～平成29年度)の実績における各搬出物の手選別搬入量に対する割合の平均を用いています。

表 2-4 各搬出物の手選別搬入量に対する割合(破碎選別処理)

ごみ区分	破碎可燃物	破碎残渣	資源物
割合	37.8%	21.7%	17.6%

表 2-5 減量化推進後における破碎選別処理量推計

(単位：t/年)

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
搬入量	破碎選別処理	156	151	148	147	142	139
搬出量		156	151	148	147	142	139
	破碎可燃物	76	74	73	72	70	68
	破碎残渣	44	42	41	41	40	40
	資源物	36	35	34	34	32	31
区分		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
搬入量	破碎選別処理	137	134	133	130	125	123
搬出量		137	134	133	130	125	123
	破碎可燃物	67	66	65	64	61	60
	破碎残渣	39	38	38	37	36	35
	資源物	31	30	30	29	28	28
区分		令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度		
搬入量	破碎選別処理	119	118	116			
搬出量		119	118	116			
	破碎可燃物	59	57	57			
	破碎残渣	33	34	33			
	資源物	27	27	26			

表 2-6 減量化推進後における破碎選別処理量推計(標津町、羅臼町)

(単位：t/年)

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
搬入量	破碎選別処理	269	262	256	252	243	238
搬出量		269	262	256	252	243	238
	破碎可燃物	138	135	133	130	126	123
	破碎残渣	64	61	59	59	57	56
	資源物	67	66	64	63	60	59
区分		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
搬入量	破碎選別処理	233	228	225	219	211	207
搬出量		233	228	225	219	211	207
	破碎可燃物	120	118	116	113	109	107
	破碎残渣	55	53	54	53	51	49
	資源物	58	57	55	53	51	51
区分		令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度		
搬入量	破碎選別処理	201	197	194			
搬出量		201	197	194			
	破碎可燃物	104	101	100			
	破碎残渣	48	47	47			
	資源物	49	49	47			

第2節 焼却処理

減量化推進後における構成3町の焼却処理量は以下の式により算出します。

搬入量＝燃やせるごみ＋手選別後焼却処理＋破碎可燃物

搬出量(焼却残渣)＝搬入量×焼却残渣発生率

※焼却残渣発生率は、過去5年間(平成26年度～平成30年度)の実績における搬入量に対する焼却残渣の割合の平均を用いています(標津町7.2%、羅臼町6.7%、中標津町6.6%)。

表 2-7 減量化推進後における焼却処理量推計

(単位：t/年)

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
搬入量		1,131	1,106	1,083	1,058	1,032	1,010
	燃やせるごみ	1,044	1,021	999	976	952	932
	手選別後焼却処理	11	11	11	10	10	10
	破碎可燃物	76	74	73	72	70	68
搬出量	焼却残渣	82	80	78	76	75	73
区分		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
搬入量		989	974	952	932	915	898
	燃やせるごみ	912	898	878	859	845	829
	手選別後焼却処理	10	10	9	9	9	9
	破碎可燃物	67	66	65	64	61	60
搬出量	焼却残渣	71	70	69	67	66	65
区分		令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度		
搬入量		879	858	841			
	燃やせるごみ	811	793	776			
	手選別後焼却処理	9	8	8			
	破碎可燃物	59	57	57			
搬出量	焼却残渣	64	62	61			

第3節 資源化処理

減量化推進後における構成3町の資源化処理量は、以下の式により算出します。

搬入量＝資源ごみ

搬出量＝各区分別資源ごみ

表 2-8 減量化推進後における資源化処理量推計(構成3町総量)

(単位：t/年)

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
搬入量	資源ごみ	2,195	2,157	2,121	2,086	2,064	2,026
搬出量		2,195	2,157	2,121	2,086	2,064	2,026
	びん類	313	309	303	299	297	292
	カン類	291	286	280	274	271	267
	ペットボトル(白色トレイ含む)	126	123	122	120	119	116
	プラスチック製容器包装	191	189	186	183	183	179
	紙製容器包装	87	85	83	83	82	80
	新聞紙	316	310	305	301	297	292
	雑誌類	344	338	333	327	323	317
	ダンボール	453	446	439	431	425	416
	紙パック	9	9	9	9	9	9
	その他	65	62	61	59	58	58
区分		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
搬入量	資源ごみ	1,993	1,965	1,943	1,903	1,877	1,847
搬出量		1,993	1,965	1,943	1,903	1,877	1,847
	びん類	288	284	282	276	274	270
	カン類	261	257	253	248	243	239
	ペットボトル(白色トレイ含む)	116	115	114	112	110	109
	プラスチック製容器包装	177	175	174	170	169	166
	紙製容器包装	80	79	78	76	76	74
	新聞紙	287	283	279	274	270	266
	雑誌類	310	306	302	296	292	288
	ダンボール	409	402	397	389	383	377
	紙パック	9	9	9	9	8	7
	その他	56	55	55	53	52	51
区分		令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度		
搬入量	資源ごみ	1,820	1,787	1,758	1,731		
搬出量		1,820	1,787	1,758	1,731		
	びん類	267	263	259	255		
	カン類	235	230	226	221		
	ペットボトル(白色トレイ含む)	107	106	105	103		
	プラスチック製容器包装	164	162	160	158		
	紙製容器包装	74	72	72	70		
	新聞紙	262	257	252	249		
	雑誌類	283	278	273	270		
	ダンボール	371	363	357	352		
	紙パック	7	7	7	7		
	その他	50	49	47	46		

第4節 最終処分

減量化推進後における構成3町の最終処分量は、以下の式により算出します。

$$\begin{aligned} \text{最終処分量} = & (\text{手選別処理}) \text{手選別後埋立} + (\text{破碎選別処理}) \text{破碎残渣} \\ & + (\text{焼却処理}) \text{焼却残渣} \end{aligned}$$

表 2-9 減量化推進後における最終処分量推計(標津町、羅臼町)

(単位：t/年)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
最終処分量	250	240	233	226	222	216
手選別後埋立	35	34	34	33	32	31
破碎残渣	67	64	61	59	59	57
焼却残渣	148	142	138	134	131	128
区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
最終処分量	210	206	201	199	195	190
手選別後埋立	30	30	29	28	28	27
破碎残渣	56	55	53	54	53	51
焼却残渣	124	121	119	117	114	112
区分	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度		
最終処分量	186	182	176	174		
手選別後埋立	27	26	25	25		
破碎残渣	49	48	47	47		
焼却残渣	110	108	104	102		

表 2-10 減量化推進後における最終処分量推計(中標津町)

(単位：t/年)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
最終処分量	955	949	939	930	925	915
手選別後埋立	305	304	301	298	298	295
破碎残渣	249	248	245	243	242	241
焼却残渣	401	397	393	389	385	379
区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
最終処分量	907	899	895	886	880	873
手選別後埋立	293	290	289	286	283	281
破碎残渣	239	236	235	233	232	230
焼却残渣	375	373	371	367	365	362
区分	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度		
最終処分量	867	857	849	843		
手選別後埋立	279	276	273	271		
破碎残渣	228	225	223	222		
焼却残渣	360	356	353	350		

第3章 減量化推進後のごみ処理システム評価

第1節 ごみ総排出量原単位

減量化推進後におけるごみ総排出量原単位について、各町の数値は、「第3節 減量化推進後のごみ排出量推計」におけるごみ総排出量の減量設定からの算出値とし、構成3町総量は、以下の式により算出します。

$$\begin{aligned} & \text{ごみ総排出量原単位(構成3町総量)} (\text{g/人} \cdot \text{日}) \\ & = \text{ごみ総排出量} (\text{t/年}) \div \text{行政区域内人口} (\text{人}) \div \text{年間日数} (\text{日/年}) \times 10^6 \end{aligned}$$

表 3-1 減量化推進後におけるごみ総排出量原単位

(単位：g/人・日)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
標津町	917	913	908	904	900	896
羅臼町	1,222	1,217	1,211	1,206	1,200	1,194
中標津町	984	979	975	970	966	961
構成3町総量	1,012	1,004	999	994	992	984
区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
標津町	892	892	892	892	892	892
羅臼町	1,189	1,189	1,189	1,189	1,189	1,189
中標津町	957	957	957	957	957	957
構成3町総量	979	979	982	978	978	978
区分	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度		
標津町	892	892	892	892		
羅臼町	1,189	1,189	1,189	1,189		
中標津町	957	957	957	957		
構成3町総量	980	977	977	976		

第2節 リサイクル率

減量化推進後におけるリサイクル率について、各町及び構成3町総量は、以下の式により算出します。

$$\text{リサイクル率(\%)} = \text{ごみ総排出量(t/年)} \div \text{総資源化量(t/年)} \times 100$$

$$\text{総資源化量} = (\text{手選別処理}) \text{手選別資源回収} + (\text{破碎選別処理}) \text{資源物}$$

$$+ (\text{資源化处理}) \text{資源物} + \text{集団回収量}$$

表 3-2 減量化推進後におけるリサイクル率

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
標津町	25.9%	26.1%	26.2%	26.2%	26.4%	26.5%
羅臼町	32.2%	32.3%	32.5%	32.5%	32.7%	32.8%
中標津町	20.7%	20.8%	20.8%	20.8%	20.9%	20.9%
構成3町総量	23.5%	23.5%	23.5%	23.5%	23.6%	23.6%
区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
標津町	26.4%	26.5%	26.5%	26.4%	26.5%	26.4%
羅臼町	32.8%	32.8%	32.8%	32.7%	32.7%	32.5%
中標津町	21.0%	21.0%	21.0%	20.9%	20.9%	20.9%
構成3町総量	23.7%	23.6%	23.6%	23.5%	23.5%	23.4%
区分	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度		
標津町	26.5%	26.3%	26.4%	26.3%		
羅臼町	32.5%	32.5%	32.6%	32.6%		
中標津町	20.8%	20.9%	20.8%	20.8%		
構成3町総量	23.3%	23.3%	23.3%	23.2%		

第3節 最終処分率

減量化推進後における最終処分率について、各町及び構成3町総量は、以下の式により算出します。

$$\text{最終処分率(\%)} = \text{ごみ総排出量(t/年)} \div \text{最終処分量(t/年)} \times 100$$

表 3-3 減量化推進後における最終処分率

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
標津町	7.8%	7.8%	7.7%	7.7%	7.7%	7.8%
羅臼町	3.8%	3.7%	3.7%	3.6%	3.7%	3.7%
中標津町	11.4%	11.4%	11.4%	11.4%	11.4%	11.5%
構成3町総量	9.5%	9.6%	9.6%	9.6%	9.6%	9.7%
区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
標津町	7.8%	7.7%	7.7%	7.8%	7.8%	7.8%
羅臼町	3.6%	3.6%	3.6%	3.7%	3.7%	3.7%
中標津町	11.5%	11.5%	11.5%	11.5%	11.5%	11.5%
構成3町総量	9.7%	9.7%	9.7%	9.8%	9.8%	9.8%
区分	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度		
標津町	7.7%	7.7%	7.8%	7.8%		
羅臼町	3.7%	3.8%	3.6%	3.7%		
中標津町	11.5%	11.5%	11.4%	11.5%		
構成3町総量	9.8%	9.8%	9.8%	9.9%		